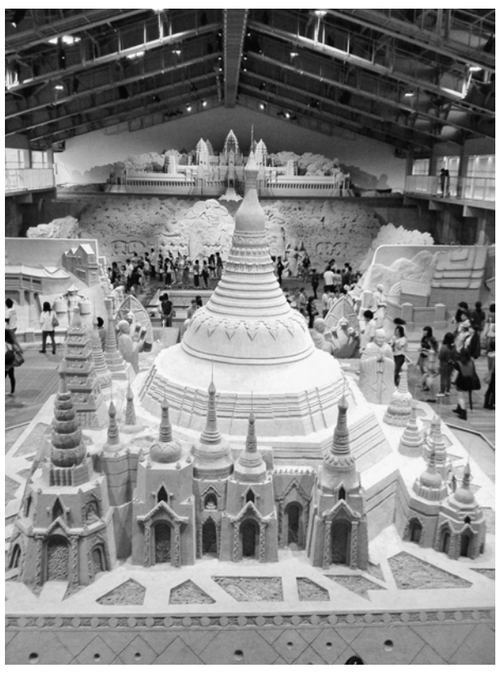
教育旅行の「おすすめスポット」

鳥取　砂と水だけで作られる芸術
砂の美術館

鳥取砂丘の一角に立つ砂像専門の美術館


巨大な砂像は圧巻の迫力

砂の美術館（鳥取市福部町）は、全国有数の観光スポット、鳥取砂丘の一角に立つ砂像展示専門の美術館。砂と水だけで作られる砂像は、昨品の精巧さはもちろん、砂像ゆえの儚さや芸術性の高さから、海外のメディアでも注目されるようになり、アジアはもとより欧米からも観光客が訪れる。2006年の展示開始以来、170万人を超える来場者に衝撃と感動を与えてきた。

同館は「砂で世界旅行」を基本コンセプトとしており、毎年テーマを変えながら砂像の制作を行っている。4月19日からスタートする今期は、テーマを「ロシア」に設定。タイトルは「砂で世界旅行・ロシア編　帝国の激動の歴史と芸術の都を訪ねて」とした。

世界遺産の聖ワシリイ大聖堂をはじめ、世界3大美術館の一つ、エルミタージュ美術館など、帝国の歴史や世界を魅了してやまない芸術大国ロシアを砂で再現する。

また同館では、砂像の楽しさをより多くの人に知ってもらいたいと、ミニ砂像作り体験や、制作秘話などが聞けるガイドツアーを行っている。

作品は凝固剤を使わず砂と水だけで創られる

世界各地の砂像彫刻家が集まり腕を競う

修学旅行向けには、山陰海岸ジオパークガイドによる砂丘体験学習と併せて、砂像作り体験を組み合わせて楽しんでもらうのがお薦め。

ライトアップすると黄金色に輝く巨大な砂像は圧巻の迫力で、来場者の96%以上が感動したと答えるという。

砂の美術館は☎0857（20）2231。今期営業期間は4月19日～来年1月4日。期間中は無休。午前9時から午後8時まで営業。入場料大人600円、小中高生300円（団体割引あり）。

京都　映画のテーマパーク
東映太秦映画村

映画の魅力を満喫 伝統工芸の体験も

からくり忍者屋敷

お手軽な扮装散策

東映太秦映画村（京都市右京区）では、リニューアルで多数登場した新アトラクションが人気を集めている。

注目の新アトラクションは、「からくり忍者屋敷」。「どんでん返し」や「隠し通路」など、たくさんのからくりを利用して忍者屋敷の出口を目指す。

「東映アニメミュージアム」では、東映アニメの歴史を貴重なポスターやセル画集などで紹介。アフレコ体験やパソコンを使った塗り絵もある。

「浮世絵ギャラリー」は、巨匠葛飾北斎の浮世絵（復刻版）に描かれた富士山を展示する。

「まるごととびだす超立体360シアター」は、3Dメガネ着用で、周囲360度全周型の大スクリーンに迫力のある3D映像が映し出される。

「おもしろ迷路館」は、錯視を利用した不思議な感覚が味わえる迷路のなかに「錯覚の部屋」「鏡の迷路」「斜めの部屋」といった部屋を設けた。各部屋でさまざまな錯覚を利用した遊びが楽しめる。

「太秦トリックアートの館」は、映画村らしい和をテーマにしたトリックアートが楽しめる。

清水焼絵付け

「忍者修行道場」は、手裏剣や丸太橋渡り、城壁のぼりや鳴子くぐりなどさまざまな忍者の試練が体験できる。

「京都太秦美空ひばり座」は、歌や映画、舞台などあらゆるジャンルで活躍したスター・美空ひばりを紹介。マルチな活躍と波瀾にとんだ生涯を豊富な資料と展示物で体感できる施設だ。

修学旅行生には、体験学習プログラムが人気。「見る・作る・学ぶ・参加する」をテーマに、京扇子、京うちわの手描き体験のほか、清水焼絵付け体験などがある。

班別研修用には、少人数用のメニューとして、清水焼ろくろ体験、清水焼絵付け体験、京扇子絵付け体験、京念珠ブレスレット作りがある。いずれも1回で15人まで体験できる。旅の思い出の品になると好評だ。

映画村ならではの体験としては「お手軽な時代劇扮装」がある。メイク、かつらを省いて着物の着付けのみのお手軽プランなので、短時間で変身して映画村の江戸の町を散策できる。

「寺子屋おもしろ体験」は、江戸庶民の生活の知恵にスポットを当てた。映画製作用の小道具を使い、映画村の俳優が、時代劇の扮装で講師を務める。「大江戸環境編―江戸時代は循環型社会―」と「大江戸暮らし編」の2コースがある。

パンフレットの郵送、申し込みなど体験学習に関する問い合わせは東映太秦映画村☎075（864）7716まで。

見て、撮って、学べる「トリックアート美術館」

東京トリックアート迷宮館 錯覚を楽しく体験

おかみさんに服を引っ張られているような演技を！

平面の絵が飛び出したり、見る角度により違う雰囲気の絵に見えたりする「トリックアート」。その中心となる施設（常設館）が東京都お台場と栃木県那須にあり、中学・高校をはじめとする修学旅行で注目のスポットとなっている。作品を見たり、触れたり、写真に撮ったりして楽しめるのはもちろん、錯覚を実際に体験できる部屋や錯覚クイズの作品もあり、「美術や心理学について生徒の学習の参考になる」と、施設を運営するエス・デー（本社＝栃木県那須町）では多くの利用を呼び掛けている。

東京・お台場にある「東京トリックアート迷宮館」は、江戸をテーマにした和風のトリックアートや人気作を展示する体験型の美術館。東京屈指の観光スポット、お台場の中心にあり、平日でも多くの一般客や修学旅行客でにぎわっている。

毎年、一部作品の入れ替えを行っており、常に最新作が楽しめる内容になっている。

迷路のような館内は、五つのテーマで構成。このうち「江戸エリア」は、江戸の宿場町や町人町を再現したエリア。まるで江戸時代にタイムスリップしたかのような感覚でトリックアートを楽しめる。作品の一つ、〝江戸宿場町〟では、来場者が茶屋のおかみさんに引っ張られているような演技をすると、人が絵画の中に入ったかのような写真が撮れる。

「怖くないお化け屋敷」エリアでは、どこか間抜けで憎めない表情をしたお化けたちが来場者を待ち構えている。お化けに食べられているような、ユニークなお化けとのツーショット写真を撮れるのが楽しい。

このほか「トリックアート名作エリア」では、過去に発表されたトリックアートの人気作の数々を展示。「脳トレコーナー」では、見る人の脳を刺激する錯覚を使ったクイズ作品を展示している。「グッズコーナー」には、トリックアートのオリジナルグッズや関連書籍がそろっている。

作品、内容ともに充実しており、楽しみながら学習ができる美術館として評価も高い。

エンターテイメントやショップ、飲食店が入った複合施設「デックス東京ビーチ」（ゆりかもめ「お台場海浜公園」駅前）東京ビーチ4階。☎03（3599）5191。

▽東京トリックアート迷宮館は、東京都港区台場1の6の1、デックス東京ビーチ4階。☎03（3599）5191。不定休で、午前11時から午後9時まで営業。入場料大人900円、中学生以下600円。

おばけとのツーショット写真！

グラスに閉じ込められちゃった?!

自由に見学が可能なトリックアート工房

制作工房も併設 那須とりっくあーとぴあ

栃木県那須町の「那須とりっくあーとぴあ」は、「トリックアートの館」「トリックアート迷宮？（はてな）館」「ミケランジェロ館」で構成された日本で最大のトリックアートテーマパーク。

「トリックアートの館」は、昨年12月にリニューアルを行い、ルネサンス芸術とトリックアートが融合した最新の美術館。祭壇画や天井画で有名なバチカンの世界遺産、システィーナ礼拝堂もトリックアートで再現。

「ファンタジーの世界」をテーマにした展示。高さ12㍍の天井に向かうらせん階段と大床絵のトリックアートは、「まるで天空から下界をのぞいているような感覚になる」。

施設には制作スタッフたちがトリックアートの新作を創造する工房を併設。「感受性の高い中・高生に絵画にふれる楽しみを感じてもらいたい」け継ぎ、「多くの人に絵画への関心を持ってもらう」ことを社是とし、作品を国内外へ広く提供。各地でのトリックアート美術館や、特別展の開催に協力している。

▽那須とりっくあーとぴあは、栃木県那須郡那須町大字高久甲上ノ台5760。☎0287（62）8388（代表）。年中無休で、午前9時半から午後6時まで営業（10～3月は午後5時まで、8月は午前9時から）。入場料各館大人1300円、小中学生800円（2館、3館共通チケット、団体割引あり）。

「ミケランジェロの館」と、制作の現場を直に体験できるように無料で開放している。

トリックアートは、エス・デーの創始者、故劍重和宗氏が新たに創り出した体験型のアート。同社では劍重氏の遺志を受

次代を拓く「オンリー・ワンの地域づくり」

脅威の東京ストロー効果

東京五輪まであと6年――総論として期待が高まっています。
日本経済はもとより観光事業にも、明日への期待と自信が戻ろうとしています。
でも、チャンスは平等に訪れても、地域や企業が得る効果は平等ではありません。
とりわけ五輪による東京へのストロー効果は、地域にとって脅威です。
いまこそ、地域の真価として、未来創造力が問われます。
地域ビジョンづくりの第一歩は、地域一体のコンセンサス醸成です。

観光経済新聞にお任せください。

永年、観光による地域活性化座談会を展開した実績は、比類ないものです。
座談会やシンポジウムの実施をとおして
地域にふさわしい方向性を導き出すお手伝いをします。

お問い合わせ　観光経済新聞社・産業観光活性化支援室　TEL03-3827-9800　E-mail:info@kankokeizai.com　ご要望に応じて企画説明へ担当者派遣にも応じます。